

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業(泉南市子ども夢事業)				②事業番号	7612	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 29 年度	⑤終了予定年度	令和 年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称 泉南市子ども夢事業実施要綱
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	4	細目 5
⑨担当部名	教育部			⑩担当課名	生涯学習課		
				会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内2中学校の2年生	① 生徒数	人
② 市内全4中学校の2年生	② 生徒数	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
元サッカー日本代表、Jリーグ選手をはじめ様々なアスリート等を、特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む。 令和元年度は、泉南中学校及び一丘中学校の2年生系8クラスの生徒を対象に実施したが、令和2年度は市内の全4中学校の2年生計15クラスを対象に実施した。 (令和2年度は、「国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業の一つとして実施した。)	① 出席者数	人
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む。	① 出席率	%
	計算式 参加者/対象指標①又は②	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
次代を担う青少年が明るく、素晴らしい夢を描き、実現させるきっかけとなる。	政策(章)	1: すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4: だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	3: 青少年、子どもの健全育成
	施策小	1: 自主活動の支援

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	生徒数	人	311	276	—	—		指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	生徒数	人	—	—	543	536		
活動指標①	出席者数	人	299	266	504	509		
活動指標②								H30・R1年度は市内2中学校の中学2年生の生徒を対象に実施していた。
活動指標③								
成果指標①	出席率	%	96	96	93	95		
成果指標②								R2年度、令和3年度は、市内4中学校の2年生15クラスを対象に実施。
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.17	0.08	0.39	0.39		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,378	617	2,976	2,976		
	人件費(投入人員*単価)	千円	1,200	1,164	1,109	2,300		R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを使用したオンラインでの実施となった。その他特定財源については、水なす基金からの繰入金。
	直接事業費	千円	2,578	1,781	4,085	5,276		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	1,100	1,109	1,150		
	一般財源	千円	2,578	681	2,976	4,126		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	夢を実現させるきっかけづくり。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	直接体験談を聞くことで、将来に明るい展望を描ききっかけとなる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	令和2年度は、市内全中学校の2年生を対象とし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを利用したオンラインで実施した。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目	評価及び理由・説明等						
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	次代を担う青少年を対象にすることで、健全育成を図る。					

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	事前アンケートや事後アンケート、夢シートから夢を持つことへの意識向上が見られた。					
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある アイ. ない	インターネットを使用したオンラインを活用する。					
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし ウイ. できる ウ. できない	—					

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—					

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	令和2年度は、市内全4中学校の2年生を対象とし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを利用したオンラインで実施した。通信環境が悪く通信が一時途切れるなどオンライン実施の課題もあったが概ねスムーズに実施できた。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">ア</td> <td style="width: 30%;">ア. 現状のまま継続</td> <td style="width: 30%;">イ. 見直しのうえで継続</td> <td style="width: 10%;">ウ. 終了 ↓ (年まで)</td> <td style="width: 10%;">エ. 休止 ↓ (年から)</td> <td style="width: 10%;">オ. 廃止 ↓ (年から)</td> </tr> </table>		ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)		
<今後の展開方針> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">a. 重点化する(集中的なコスト投入)</td> <td style="width: 50%;">b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</td> </tr> <tr> <td>c. 効率化する(コストを下げる)</td> <td>d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)</td> </tr> </table>		a. 重点化する(集中的なコスト投入)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)	c. 効率化する(コストを下げる)	d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)		
a. 重点化する(集中的なコスト投入)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)						
c. 効率化する(コストを下げる)	d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)						
①改革、改善の具体案、実施年度など	—						
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—						